

**I 単元名** 動いたり跳んだりしよう（にんにん忍者修行）**II 単元の指導構想****1 子どもについて**

子どもたちは運動時間において、自分の気持ちに応じて校庭を歩いたり周囲の様子を見たり、ブランコや雲梯などの遊具で一人遊びをしたり、数名のグループになり鬼ごっこをしたりするなど、それぞれ思い思いに楽しく過ごしている。

しかし、子どもの遊び方を見てみると、遊べる種類が少なかったり偏ったりする傾向がある。また、長時間立っていることや徒歩移動、転びそうな時には手が出ないといった課題も見られる。

それらは、遊ぶ経験が少ないことや、体の動かし方を知らないといったことなどが背景にあると考えられる。

したがって、本単元ではさまざまな運動遊びを取り入れた活動をする。

**2 単元について**

本単元では、一人一人の特性や発達段階に応じて、にんにん忍者修行を通してのさまざまな運動遊びを経験する。忍者になりきった子どもたちが、またぐ・くぐる（忍法蜘蛛の巣越え）、投げる（忍法シュリケンシュッシュュッ）、跳ぶ（忍法石跳び）、運ぶ（忍法巻物運び）などの活動を行い、まとめの学習として「にんにん忍者認定試験（認定証交付式）」を行い、単元の学習を振り返るという流れで進めていく。

単元のオリエンテーションでは、忍者になりきる場があることで楽しく運動できるようにする。そして、学習の流れを知ることにより、見通しをもって活動できるようにする。さらに、運動に変化を付け、興味関心の持続を図る。

運動遊びを繰り返しやってみる活動を取り入れることで、運動に夢中に慣れるようにする。異学年の友達と運動する中で、お互いのよさを見つけたり声をかけ合ったりなど、温かいかわりかかわりがもてるようにする。

人とかかわり合いながら、運動の楽しさを味わうことで、体力の向上を図ることができ、その経験や体力が運動時間での遊びの広がりや、階段の昇り降り、荷物を運ぶなどの学校生活にも活かすことができるものと考え、本単元を設定した。

**<復興教育との関連>****1 生命や心について【いきる】 「⑦【体の健康】」**

10分間のランニングを休まないで走ることや、さまざまな運動遊びを繰り返し経験することで、体力の向上を図る。

**2 人や地域について【かかわる】「⑨【仲間や地域の人々とのつながり】」とのかかわり**

子どもが共に運動することや、お互いの運動を見合うことを通して、自他の運動を見直し、互いに認め理解し合ったり実際にやってみたり、アドバイスし合ったりして人とかかわることのよさを実感する。

**III 授業づくりのための具体的な手立て****【手立て①】子どもの運動能力に応じた活動内容の設定**

指導内容表をもとに、系統的に子どもの運動能力を捉える。その際には、さまざまな検査を併用することによって、多面的に運動能力を捉えることができるようにする。

指導内容表をもとに、一人一人の体の動き（這う、跳ぶ、横転）を、授業での様子や録画した映像によって見取り、単元における一人一人に応じた目標を設定する。（5 単元の目標 本時の（ ）内は「体づくり運動・跳ぶ」の指導項目）

**【手立て②】運動遊びにおける教師と子どもとのかかわり**

「運動との出会い」・・・子どもが興味を持って見たり聞いたりできるように、運動遊びの内容や方法の簡素化を図り、子どもの好きな物や色、音を取り入れて興味を喚起したり、視覚的に捉えやすい場を設定したりする。また、教師自身が運動することの楽しさ、共に活動することの楽しさを表現する。

「試す」・・・感覚的な言葉（オノマトペ）を使用することで理解を促す。

「グループ練習」・・・運動量を確保できるようにグループ化し、教師が分担して指導にあたる。また、繰り返し行う動きの中から、動きのコツを体感できるような場の設定をする。

「動きのコツを知る」・・・自分で発見したことを伝えたり、友達の意見を聞いたりして知った動きのコツを参考にやってみようと思えるように、手本となる友達の運動を見る場面を設定したり、見たことをもとにしながらかえり練習する場を設定したりする。

IV 学習計画(10時間)※本時は第6時

		学習内容と指導者の役割			
ねらいとする動き		緑忍者	青忍者	黄色忍者	赤忍者
1	<ul style="list-style-type: none"> <li>・横転 (腹筋, 体の締め)</li> <li>・這う (腕支持, 体の締め)</li> </ul>	<p>●にんにん忍者修行オリエンテーション</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・にんにん忍者修行の動き (走る・這う, 横転) をする。</li> <li>・かっこよい忍者のイメージをもつ。</li> </ul>			
2 3	<ul style="list-style-type: none"> <li>・またぐ・くぐる (足の振り上げ, 足の振り下ろし)</li> <li>・くぐる (前傾姿勢)</li> </ul>	<p>●またぐ・くぐる (忍法 蜘蛛の巣越え)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・蜘蛛の巣をまたぐことができる。 (高い位置)</li> <li>・蜘蛛の巣をまたぐことができる。</li> <li>・教師や友達の動きを手本にして, 蜘蛛の巣をまたぐことができる。</li> <li>・教師の支援を受けながら蜘蛛の巣をまたぐことができる。</li> </ul>			
4 5	<ul style="list-style-type: none"> <li>・投げる (腕の振り上げ, 腕の振り下ろし, 腕の振り回し)</li> </ul>	<p>●投げる (忍法 シュリケンシュツシュツ)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・フリスビーを投げるができる。 (遠くに)</li> <li>・フリスビーを投げるができる。</li> <li>・教師や友達の動きを手本にして, フリスビーを投げるができる。</li> <li>・教師の支援を受けながらフリスビーを投げるができる。</li> </ul>			
6 本時 7	<ul style="list-style-type: none"> <li>・跳ぶ (足の振り上げ, 足の振り下ろし, 片足・両足踏切, 片足・両足着地)</li> </ul>	<p>●跳ぶ (忍法 石跳び)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・片足跳びや両足跳びで石 (目標物) から石へ跳び移ることができる。 (遠くに)</li> <li>・片足跳びや両足跳びで石 (目標物) から石へ跳び移ることができる。</li> <li>・両足跳びで石 (目標物) に跳び乗ることができる。</li> <li>・石 (目標物) に乗ることができる。</li> </ul>			
8 9	<ul style="list-style-type: none"> <li>・運ぶ (体の締め・腹筋)</li> </ul>	<p>●運ぶ (忍法 巻物運び)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ペアで巻物運びができる。 (障害物を二つ以上)</li> <li>・ペアで巻物運びができる。 (障害物二つ以下)</li> <li>・落とさないようにペアで巻物運びができる。</li> <li>・教師の支援を受けながらペアで巻物運びができる。</li> </ul>			
10		<p>●にんにん忍者認定試験 (認定書交付式)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・これまで学習した一つ一つの動きを確認し, にんにん忍者を行う。</li> <li>・これまでの学習を振り返る。</li> </ul>			

## V 単元の目標

- ・にんにん忍者修行をとおして、楽しく運動に取り組んだりいろいろな活動に取り組んだりすることができる。

※ 本時の( )内は、指導内容表の体づくりの指導項目

子ども	A	B	C	D	E	F	G	H	I	J
前単元までの到達状況	教師の支援を受けながら、マット上を横に回ることができる。	教師の支援を受けながら、マット上を横に回ることができる。	教師の支援を受けながら、四つ這いで前に進むことができる。	ケンステップで前に進んだりマット上を横に回ったりすることができる。	マット上を横に回ったり、ケンステップやアザラシ歩きでゆっくり前に進んだりすることができる。	マット上を横に回ったり、ケンステップやアザラシ歩きで前に進んだりすることができる。	ゆっくりとした速さでマット上を横に回ったり、ケンステップやアザラシ歩きで前に進んだりすることができる。	マット上を横に回ったり、ケンステップやアザラシ歩きで前に進んだりすることができる。	マット上を横に回ったり、ケンステップやアザラシ歩きで前に進んだりすることができる。	ゆっくりとした速さでマット上を横に回ったり、ケンステップで前に進んだりすることができる。
本単元の目標	教師と一緒に、手足を動かしたり歩く、走るなどの基本的な運動をしたりする。	歩く、走る、跳ぶなどの基本的な運動に慣れる。	教師と一緒に、手足を動かしたり歩く、走るなどの基本的な運動をしたりする。	歩く、走る、跳ぶなどの基本的な運動を姿勢や動きを変えるなどしていろいろな方法で行うことができる。	歩く、走る、跳ぶなどの基本的な運動に慣れる。	歩く、走る、跳ぶなどの基本的な運動を姿勢や動きを変えるなどしていろいろな方法で行うことができる。	歩く、走る、跳ぶなどの基本的な運動に慣れる。	歩く、走る、跳ぶなどの基本的な運動を姿勢や動きを変えるなどしていろいろな方法で行うことができる。	歩く、走る、跳ぶなどの基本的な運動を姿勢や動きを変えるなどしていろいろな方法で行うことができる。	教師と一緒に、手足を動かしたり歩く、走るなどの基本的な運動をしたりする。
各時間の目標 1時間目	●にんにん忍者修行オリエンテーション ・にんにん忍者修行の動き（這う、跳ぶ、横転）を確認する。 ・よい忍者（上手に動ける忍者）になるための話し合いをする。									
2・3時間目	教師の支援を受けながら、蜘蛛の巣をまたぐことができる。	教師や友達の動きを手本にして、蜘蛛の巣をまたぐことができる。	教師の支援を受けながら、蜘蛛の巣をまたぐことができる。	蜘蛛の巣をまたぐことができる。	教師や友達の動きを手本にして、蜘蛛の巣をまたぐことができる。	蜘蛛の巣をまたぐことができる。	教師や友達の動きを手本にして、蜘蛛の巣をまたぐことができる。	蜘蛛の巣をまたぐことができる。	蜘蛛の巣をまたぐことができる。	教師の支援を受けながら、蜘蛛の巣をまたぐことができる。
4・5時間目	教師や友達の動きを手本にして、フリスビーを投げることができる。	教師や友達の動きを手本にして、フリスビーを投げることができる。	教師の支援を受けながらフリスビーを投げることができる。	フリスビーを投げることができる。	教師や友達の動きを手本にして、フリスビーを投げることができる。	教師や友達の動きを手本にして、フリスビーを投げることができる。	教師や友達の動きを手本にして、フリスビーを投げることができる。	フリスビーを投げることができる。	フリスビーを投げることができる。	教師の支援を受けながらフリスビーを投げることができる。
<b>6・7時間 (本時は6時間目)</b>	両足跳びで石に跳び乗ることができる。 (I-2)	石に乗ることができる。 (I-2)	石に乗ることができる。 (I-2)	片足跳びや両足跳びで石から石へ跳び移ることができる。 (I-8)	両足跳びで石に跳び乗ることができる。 (I-2)	片足跳びや両足跳びで石から石へ跳び移ることができる。 (I-8)	両足跳びで石に跳び乗ることができる。 (I-2)	片足跳びや両足跳びで石から石へ跳び移ることができる。 (I-8)	片足跳びや両足跳びで石から石へ跳び移ることができる。 (I-8)	石(目標物)に乗ることができる。 (I-2)
8・9時間目	落とさないように、ペアで巻物運びができる。	教師の支援を受けながら、ペアで巻物運びができる。	教師の支援を受けながら、ペアで巻物運びができる。	ペアで巻物運びができる。	落とさないように、ペアで巻物運びができる。	ペアで巻物運びができる。	落とさないように、ペアで巻物運びができる。	ペアで巻物運びができる。	ペアで巻物運びができる。	教師の支援を受けながら、ペアで巻物運びができる。
10時間目	●にんにん忍者認定試験(認定書交付式) ・これまで学習した一つ一つの動きを確認し、にんにん忍者(サーキットトレーニング)を行う ・これまでの学習を振り返る									

子ども	K	L	M	N	O	P	Q	R	S	T
前単元までの到達状況	ケンステップやアザラシ歩きで前に進んだりすることができる。また、ゆっくりではあるがマット上を横に回ることができる。	ゆっくりとした速さでマット上を横に回ったり、ケンステップやアザラシ歩きで前に進んだりすることができる。	マット上を横に回ったり、ケンステップやアザラシ歩きで前に進んだりすることができる。	アザラシ歩きでゆっくりと前に進むことができる。また、マット上を横に回ったり、ケンステップで前に進んだりすることができる。	マット上を横に回ったり、ケンステップでゆっくり前に進んだりすることができる。	マット上を横に回ったり、ケンステップで前に進んだりすることができる。	マット上を横に回ったり、ケンステップやアザラシ歩きで前に進んだりすることができる。	アザラシ歩きでゆっくりと前に進むことができる。また、マット上を横に回ったり、ケンステップで前に進んだりすることができる。	マット上を横に回ったり、ケンステップやアザラシ歩きで前に進んだりすることができる。	マット上を横に回ったり、ケンステップやアザラシ歩きで前に進んだりすることができる。
本単元の目標	歩く、走る、跳ぶなどの基本的な運動を姿勢や動きを変えるなどしていろいろな方法で行うことができる。	歩く、走る、跳ぶなどの基本的な運動に慣れる。	歩く、走る、跳ぶなどの基本的な運動に慣れる。	歩く、走る、跳ぶなどの基本的な運動を姿勢や動きを変えるなどしていろいろな方法で行うことができる。	歩く、走る、跳ぶなどの基本的な運動を姿勢や動きを変えるなどしていろいろな方法で行うことができる。	教師と一緒に、手足を動かしたり歩く、走るなどの基本的な運動をしたりする。	歩く、走る、跳ぶなどの基本的な運動を姿勢や動きを変えるなどしていろいろな方法で行うことができる。	歩く、走る、跳ぶなどの基本的な運動を姿勢や動きを変えるなどしていろいろな方法で行うことができる。	歩く、走る、跳ぶなどの基本的な運動を姿勢や動きを変えるなどしていろいろな方法で行うことができる。	教師と一緒に、手足を動かしたり歩く、走るなどの基本的な運動をしたりする。
各時間の目標 1時間目	●にんにん忍者修行オリエンテーション ・にんにん忍者修行の動き（這う、跳ぶ、横転）を確認する。 ・よい忍者（上手に動ける忍者）になるための話し合いをする。									
2・3時間目	蜘蛛の巣をまたぐことができる。	教師や友達の動きを手本にして、蜘蛛の巣をまたぐことができる。	教師や友達の動きを手本にして、蜘蛛の巣をまたぐことができる。	蜘蛛の巣をまたぐことができる。	蜘蛛の巣をまたぐことができる。	教師の支援を受けながら、蜘蛛の巣をまたぐことができる。	蜘蛛の巣をまたぐことができる。	蜘蛛の巣をまたぐことができる。	蜘蛛の巣をまたぐことができる。	教師の支援を受けながら、蜘蛛の巣をまたぐことができる。
4・5時間目	フリスビーを投げることができる。	教師や友達の動きを手本にして、フリスビーを投げることができる。	教師や友達の動きを手本にして、フリスビーを投げることができる。	フリスビーを投げることができる。	フリスビーを投げることができる。	教師の支援を受けながらフリスビーを投げることができる。	フリスビーを投げることができる。	フリスビーを投げることができる。	フリスビーを投げることができる。	教師の支援を受けながらフリスビーを投げることができる。
<b>6・7時間 (本時は6時間目)</b>	片足跳びや両足跳びで石から石へ跳び移ることができる。 <b>(I-8)</b>	石に跳び乗ることができる。 <b>(I-2)</b>	石に跳び乗ることができる。 <b>(I-2)</b>	片足跳びや両足跳びで石から石へ跳び移ることができる。 <b>(I-8)</b>	片足跳びや両足跳びで石から石へ跳び移ることができる。 <b>(I-8)</b>	石に乗ることができる。 <b>(I-2)</b>	片足跳びや両足跳びで石から石へ跳び移ることができる。 <b>(I-8)</b>	片足跳びや両足跳びで石から石へ跳び移ることができる。 <b>(I-8)</b>	片足跳びや両足跳びで石から石へ跳び移ることができる。 <b>(I-8)</b>	石に乗ることができる。 <b>(I-2)</b>
8・9時間目	ペアで巻物運びができる。	落とさないように、ペアで巻物運びができる。	落とさないように、ペアで巻物運びができる。	ペアで巻物運びができる。	ペアで巻物運びができる。	教師の支援を受けながら、ペアでボール運びができる。	ペアでボール運びができる。	ペアでボール運びができる。	ペアでボール運びができる。	教師の支援を受けながら、ペアでボール運びができる。
10時間目	●にんにん忍者認定試験（認定書交付式） ・これまで学習した一つ一つの動きを確認し、にんにん忍者（サーキットトレーニング）を行う ・これまでの学習を振り返る									

## VI 本時の指導

(1) 目標 石跳び遊びをとおして、片足跳びや両足跳びをしようとする。

(2) 個の目標と支援のポイント

子ども(指導者)	個の目標	支援のポイント
D, H, N, Q, S 緑忍者 (T1)	片足跳びや両足跳びで石(目標物)から石へ、跳び移ることができる。 (遠くに)	・踏切や手の振りを意識できるような、感覚的な言葉での声かけをする。 ・遠くに跳べるように目標物の感覚をあける。
F, I, K, O, R 青忍者 (T4)	片足跳びや両足跳びで石(目標物)から石へ、跳び移ることができる。	・踏切や手の振りを意識できるような、感覚的な言葉での声かけをする。 ・石の上に型をおいて置くことで着地を意識できるようにする。(片足・両足)
B, E, J, L, M 黄色忍者 (T2)	両足跳びで石(目標物)に跳び乗ることができる。	・感覚的な言葉での声かけをする。 ・高く跳ぶことを意識できるようにするために、石と石の間に障害物を置く。
A, C, G, P, T 赤忍者 (T3 T5)	石(目標物)に乗ることができる。	・教師が子どもの手をとる。 ・乗る場所を視覚的にとらえることができるように、両足の型を石の上に付ける。

(3) 共通の運動遊びと動き

① にんにん忍者修行の動き(這う, 跳ぶ, 横転)を取り入れた運動遊び

② 石跳びの動作を取り入れた運動遊び

(4) 展開

子ども・指導者 学習活動	D, H, N, Q, S 緑忍者 (T1)	F, I, K, O, R 青忍者 (T4)	B, E, J, L, M 黄色忍者 (T2)	A, C, G, P, T 赤忍 (T3, T5)	準備物
	○指導上の留意点 ★支援 ◎研究に関わる手立て				
評価規準					
1 ランニング(10分) ・BGMに合わせてランニングをする。	○順番で割り当たった子どもは、1周走った毎に自分の周数を輪投げに入れるようにする。 ★自分の周数を輪投げに入れるながら走ることで、自分の周数が分かるようにする。 ○ランニング終了後、全員のカードにシールをはる。 ★全員のカードにシールをはることで、一人一人のがんばりを評価する。 ○汗を拭くように声かけをする。 ★ハンカチを出すように促す。				輪投げセット ランニングカード シール
2 ラジオ体操(5分) ・ポイントを意識しながらラジオ体操をする。	○1つの動きのポイントを確認する。 ★「ぴよんぴよん横」など、動きがイメージできる声かけをする。 ○シャツを入れるように声かけをする。 ★「シャツ, 入れます。」と話し, 正しい服装を意識できるようにする。				
3 集合・あいさつ・学習内容の確認(3分) ・川をどうやって越えるか考える。 ・考えたことをもとにやってみる。	◎川の間を提示し, 楽しそうな運動遊び(忍法 石跳び)をすることを確認することで活動意欲を喚起する。 ★子どもが喜ぶような場や子どもの能力に応じた場の設定をする。 ◎どうすれば川を越えられるか, 考える場を設ける。 ★子どもから出された意見を端的にまとめて, みんなで共有できるようにする。				

<p><b>4 準備 (3分)</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>グループ毎に準備する。</li> </ul>	<p>○器具や用具を安全に準備できるようにする。  ★各グループの実態に応じて、用具や器具を運ぶことができるように役割分担をする。</p>				<p>石 (ベニヤ板) 川 (ブルーシート)</p>
<p><b>5 忍法 石跳び (10分)</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>グループ毎に、石跳びの練習をする。</li> </ul> <p><b>※グループ毎の活動は上記(7 本時の指導 (2)個の目標と支援のポイントを参照)</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>グループ毎に見本となる動きや、伸びの見られた子どもを見合う。</li> <li>グループ毎に、再度練習をする。</li> </ul>	<p>○片足跳びや両足跳びで、遠くの石 (目標物) から石まで跳び移れるようにする。  ★踏切や手の振りを意識できるような、感覚的な言葉での声かけをする。  ★遠くに跳べるように、目標物の感覚をあける。</p>	<p>○片足跳びや両足跳びで石 (目標物) から石まで跳び移れるようにする。  ★踏切や手の振りを意識できるような、感覚的な言葉での声かけをする。  ★石の上に型をおいて置くことで着地を意識できるようにする。(片足・両足)</p>	<p>○石に跳び乗ることができるようにする。  ★感覚的な言葉での声かけをする。  ★高く跳ぶことを意識できるようにするために、石と石の間に障害物を置く。</p>	<p>○石に乗ることができるようにする。  ★教師が子どもの手をとる。  ★乗る場所を視覚的にとらえることができるように、両足の型を石の上に付ける。</p>	<p>石 (ベニヤ板) 川 (ブルーシート)  石 (ベニヤ板) 川 (ブルーシート) 蜘蛛の巣 (ネット, ゴム)</p>
<p><b>6 忍者修行</b> にんにん忍者修行の動き + 石跳び (10分)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>石跳び①の活動を活かして、石跳び②の活動を繰り返し行う。</li> </ul>	<p>○けがをしないように安全面に留意する。  ★危険箇所や、配慮の要する子どもについて指導者がつくようにする。  ◎動きのコツを知り、一人一人の動きに対して即時に評価をする。  ★繰り返し練習する時間を確保し、できるようになることで「できた」「楽しい」といった、できる楽しさを感じられるようにする。</p>				<p>石 (ベニヤ板) 川 (ブルーシート) 蜘蛛の巣 (ネット, ゴム) 池 (ブルーシート)</p>
<p><b>7 後片付け (2分)</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>自分たちの使った道具を、グループ毎に片付ける。</li> </ul>	<p>○器具や用具を安全に後片付けできるようにする。  ★各グループの実態に応じて、用具や器具を運ぶことができるように役割分担をする。</p>				
<p><b>8 振り返り (2分)</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>がんばったことや楽しかったことを発表する。</li> <li>お互いの成果を確かめ合う。</li> </ul>	<p>○次時の学習への意欲付けを図る。  ★本時での子どもたちの学習を価値づける。</p>				